

鹿児島大学大学院連合農学研究科入学者選抜等に関する細則

平成 16 年 4 月 1 日

鹿大連細則第 2 号

第 1 章 総則

(目的)

第 1 条 この細則は、鹿児島大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第 29 条及び第 32 条の規定に基づき、鹿児島大学大学院連合農学研究科（以下「研究科」という。）の入学者の選抜及び進学者の選考に関し必要な事項を定めるものとする。

第 2 章 出願資格認定

(出願資格認定審査)

第 2 条 大学院学則第 28 条第 7 号又は 8 号の規定に基づく資格(修士の学位又は専門職学位を有する者と同以上の学力があると認めた者) 認定審査の申し出があった場合は、その者の出願書類を受理する前に、出願資格の認定のための審査（以下「資格認定審査」という。）を行う。

(資格認定審査提出書類)

第 3 条 資格認定審査を受けようとする者は、次に掲げる書類を指定された日までに提出しなければならない。

- (1) 入学試験出願資格認定申請書 (連大入試様式第 6 号)
- (2) 履歴書 (連大入試様式第 2 号)
- (3) 研究歴証明書 (連大入試様式第 7 号)
- (4) 研究業績書 (表紙：連大入試様式第 8 号)

(修士学位相当の論文の概要を、A4 判の用紙を使用し、和文の場合は 2,000 字以内、英文の場合は 1,200 語以内で記入すること。)

- (5) 研究成果資料
(研究業績の基礎となる論文等。なお、共同研究の場合は、当該者が担当した資料を添付すること。)
- (6) その他必要と認めるもの

(出願資格認定審査委員会)

第 4 条 資格認定審査を行うため、出願資格認定審査委員会（以下「認定委員会」という。）を置く。

2 前項の委員は、主指導教員予定者及び入学希望者が入学した場合の配属予定大学の代議委員 1 名とする。ただし、必要と認めた場合は、関連する研究分野の研究科教員を加えることができる。

(資格認定審査方法)

第 5 条 認定委員会は、資格認定審査を次の方法により実施するものとする。

- (1) 経歴調査：履歴書及び研究歴証明書により行う。
- (2) 業績審査：研究業績書及び研究成果資料により行う。
- (3) 口頭試問：必要に応じて行う。

(資格認定審査の時期及び場所)

第 6 条 資格認定審査は、原則として入学者選抜試験の出願開始 7 日前までに、主指導教員予定者の属する構成大学で行う。

(資格認定審査の基準及び結果の通知)

第 7 条 資格認定審査の基準は、代議委員会が別に定める。

- 2 認定委員会は、出願資格認定の可否を決定し、研究科長に報告する。
- 3 研究科長は、資格認定審査を受けた者に審査の結果を文書（連大入試様式第 10 号）をもって通知する。

第 3 章 入学者選抜試験

（入学試験委員会）

第 8 条 入学者の選抜を行うため、入学試験委員会（以下「入試委員会」という。）を置く。

- 2 入試委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
 - (1) 研究科長
 - (2) 副研究科長
 - (3) 専任教員
 - (4) 代議委員会規則第 2 条第 4 号に掲げる委員
 - (5) 小論文・口頭試問委員
- 3 入試委員会に委員長（以下「入試委員長」という。）及び副委員長（以下「入試副委員長」という。）を置き、入試委員長に研究科長を、入試副委員長に副研究科長をもって充てる。
- 4 入試委員長は、会議を招集し、その議長となる。
- 5 入試副委員長は、入試委員長を補佐し、入試委員長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 6 入試委員会は、委員の 2 分の 1 以上の出席がなければ開催することができない。
- 7 入試委員会の議事は、出席委員の 3 分の 2 以上の賛成をもって決する。

（小論文・口頭試問委員）

第 9 条 小論文・口頭試問委員は、出願者のある当該連合講座に属する、次に掲げる研究科教員をもって充てる。ただし、必要と認めた場合は、他の研究科教員を加えることができる。

- (1) 代議委員会規則第 2 条第 4 号に掲げる委員
- (2) 主指導教員予定者
- (3) 副指導教員予定者
- 2 前項の委員は、研究科長が委嘱し、任期は、委嘱の日から当該選抜の合格発表の日までとする。

（入学者の選抜方法）

第 10 条 入学者の選抜は、連合講座単位で行い、小論文、口頭試問、成績証明書等を総合して判定するものとする。

- 2 可否の判定案の作成は、入試委員会が行い、可否の判定は、研究科教授会が行う。

（入試の出願書類等）

第 11 条 出願者は、次に掲げる選抜試験出願書類等を指定された期日までに提出しなければならない。

- | | |
|------------------------------------|-------|
| (1) 入学願書（連大入試様式第 1 号） | 1 通 |
| (2) 検定料 | |
| (3) 履歴書（連大入試様式第 2 号） | 1 通 |
| (4) 成績証明書（最終学歴の成績証明書） | 1 通 |
| (5) 写真（上半身、脱帽正面、縦 6 cm、横 4.5 cm） | 2 枚 |
| (6) 修士課程又は専門職学位課程修了証明書又は修了見込証明書 | 1 通 |
| (7) 修士論文又は専門職学位論文等（表紙：連大入試様式第 3 号） | 各 1 通 |

ア 修士課程又は専門職学位課程修了者

- ① 修士論文又は専門職学位論文の概要（A 4 判の用紙を使用し、和文の場合は 2,000 字以内、英文の場合は 1,200 語以内）

② 修士論文のない場合は、志望理由書（志望動機及び修士課程で学んだことを A4判の用紙を使用し、和文の場合は2,000字以内、英文の場合は1,200語以内）

③ 上記以外の研究発表等の資料

イ 修士課程又は専門職学位課程修了見込の者

① 研究経過報告書（A4判の用紙を使用し、和文の場合は12,000字以内、英文の場合は5,000語以内、いずれも図表等を含む。）

② 研究経過報告書の概要（A4判の用紙を使用し、和文の場合は2,000字以内、英文の場合は1,200語以内）

③ 研究を行っていない場合は、志望理由書（志望動機及び修士課程で学んだことを A4判の用紙を使用し、和文の場合は2,000字以内、英文の場合は1,200語以内）

④ 上記以外の研究発表等の資料

ウ 外国において、博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格した者

① 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認書類（連大入試様式第9号）に関係書類を添付

② 志望理由書（志望動機及び修士課程で学んだことを A4判の用紙を使用し、和文の場合は2,000字以内、英文の場合は1,200語以内）

③ 上記以外の研究発表等の資料

エ 外国において、博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格する見込みの者

① 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に係る確認書類（連大入試様式第10号）に関係資料を添付

② 志望理由書（志望動機及び修士課程で学んだことを A4判の用紙を使用し、和文の場合は2,000字以内、英文の場合は1,200語以内）

③ 上記以外の研究発表等の資料

オ 前記ア、イ、ウ、エ以外の者

① アに準拠した「修士学位相当の論文」（写）

② 「修士学位相当の論文」の概要（A4判の用紙を使用し、和文の場合は2,000字以内、英文の場合は1,200語以内）

③ 上記以外の研究発表等の資料

(8) 研究計画書（表紙：連大入試様式第4号） 1通

(9) 在職者の所属長の受験承諾書（連大入試様式第5号） 1通

(10) 外国人登録済証明書（写） 1通

(11) その他入試委員会が必要と認めるもの

（口頭試問）

第12条 前条第7号ア及びイのうち、修士論文又は研究経過報告書を有する者の口頭試問は、連合農学研究科博士課程を履修するにふさわしい能力と素質を判定するため、修士論文又は専門職学位論文若しくは修士論文等研究経過報告書又は専門職学位論文研究経過報告書等を対象に行う。

2 前条第7号ア、イのうち、修士論文又は研究経過報告書を有しない者及びウ、エに掲げる者の口頭試問は、連合農学研究科博士課程を履修するにふさわしい能力と素質を判定するため、志望理由書及び研究計画書等を対象に行う。

3 前条第7号オに該当する者の口頭試問は、連合農学研究科博士課程を履修するにふさわしい能力と素質を判定するため、修士学位相当の論文等を対象に行う。

第13条 選抜試験は、4月入学は2月、10月入学は9月に行うものとする。

第4章 進学者選考

(進学者の選考)

第14条 鹿児島大学、佐賀大学及び琉球大学の各大学院博士前期（修士）課程（以下「構成大学院修士課程」という。）又は各大学院専門職学位課程（以下「構成大学院専門職学位課程」という。）を修了し、引き続き研究科に進学する者を選考するため、進学者の選考を行う。

(進学者選考への出願資格)

第15条 進学者選考に出願できる者は、構成大学院修士課程又は専門職学位課程を修了見込である者とする。

(進学者選考委員会)

第16条 進学者の選考を行うため、進学者選考委員会（以下「選考委員会」という。）を置く。

2 選考委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 研究科長
- (2) 副研究科長
- (3) 専任教員
- (4) 代議委員会規則第2条第4号に掲げる委員
- (5) 口頭試問委員

3 選考委員会に委員長（以下「選考委員長」という。）及び副委員長（以下「選考副委員長」という。）を置き、選考委員長に研究科長を、選考副委員長に副研究科長をもって充てる。

4 選考委員長は、会議を招集し、その議長となる。

5 選考副委員長は、選考委員長を補佐し、選考委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

6 選考委員会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開催することができない。

7 選考委員会の議事は、出席委員の3分の2以上の賛成をもって決する。

(口頭試問委員)

第17条 口頭試問委員は、出願者のある当該連合講座に属する、次の各号に掲げる研究科教員をもって充てる。ただし、必要と認めた場合は、他の研究科教員を加えることができる。

- (1) 代議委員会規則第2条第4号に掲げる委員
- (2) 主指導教員予定者
- (3) 副指導教員予定者

2 前項の委員は、研究科長が委嘱し、任期は、委嘱の日から当該選考の合格発表の日までとする。

(進学者の選考方法)

第18条 進学者の選考は、連合講座単位で行い、口頭試問、成績証明書等を総合して判定するものとする。

2 合否の判定案の作成は、選考委員会が行い、合否の判定は、研究科教授会が行う。

(進学の出願書類等)

第19条 出願者は、次の各号に掲げる進学選考のための出願書類等を指定された期日までに提出しなければならない。

- | | |
|------------------------------|----|
| (1) 進学願書（連大入試様式第1号） | 1通 |
| (2) 履歴書（連大入試様式第2号） | 1通 |
| (3) 成績証明書（出身大学院の成績証明書） | 1通 |
| (4) 写真（上半身、脱帽正面、縦6cm、横4.5cm） | 2枚 |

- (5) 修士課程又は専門職学位課程修了見込証明書 1 通
- (6) 修士論文又は専門職学位論文等（表紙：連大入試様式第 3 号） 各 1 通
- ア 出願の時点で、修士論文又は専門職学位論文が完成している者
- ① 修士論文又は専門職学位論文の概要（A4 判の用紙を使用し、和文の場合は 2,000 字以内、英文の場合は 1,200 語以内）
 - ② 上記以外の研究発表等の資料
- イ 出願の時点で、修士論文又は専門職学位論文が完成していない者
- ① 研究経過報告書（A4 判の用紙を使用し、和文の場合は 12,000 字以内、英文の場合は 5,000 語以内、いずれも図表等を含む。）
 - ② 研究経過報告書の概要（A4 判の用紙を使用し、和文の場合は 2,000 字以内、英文の場合は 1,200 語以内）
 - ③ 上記以外の研究発表等の資料
- (7) 研究計画書（表紙：連大入試様式第 4 号） 1 通
- (8) 在職者の所属長の受験承諾書（連大入試様式第 5 号） 1 通
- (9) 外国人登録済証明書（写） 1 通
- (10) その他選考委員会が必要と認めるもの
（口頭試問）

第 20 条 口頭試問は、連合農学研究科博士課程を履修するにふさわしい能力と素質を判定するため、修士論文又は専門職学位論文若しくは修士論文研究経過報告書又は専門職学位論文研究経過報告書等を対象に行う。

（選考の時期）

第 21 条 進学者の選考は、4 月入学は 2 月、10 月入学は 9 月に行うものとする。

第 5 章 雑則

第 22 条 この内規に定めるもののほか、入学者の選抜及び進学者の選考に関し必要な事項は、研究科長が定める。

附 則

この細則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 24 年 9 月 7 日から施行する。